



視覚障害者の駅ホーム事故の現状

ANN
埼玉・JR蕨駅
正午ごろ

改善を「盲導犬の男性、事故死で」
視覚障害者団体「転落しない駅に」

視覚障害者団体の
男性の

落ちない駅のホームをもっともっと
たくさん増やしてもらって

ANNnewsCH (2021年11月24日)

事故件数 (10年間2010-19年)

- ・転落事故：747件
- ・死亡事故：22件

国土交通省が「鉄軌道事故データより」

4割が駅ホーム転落を経験
(2010年 日本盲人会連合)

要因：方向の見失いと 思いこみ

いつの間にか、ホーム端に入り、
転落してしまう

ホーム端への侵入ケース 1

①



ホームを歩いていて

ホーム端への侵入ケース 1

②



避けないと
いけない

人や障害物を回避しようとし

ホーム端への侵入ケース 1

③



あれ！
どっち向き？

方向の見失い

ホーム端への侵入ケース 1

④



あ！

思い込みで進みホーム端へ

ホーム端への侵入ケース2



ホーム端への侵入ケース2



ホーム端の位置が分かれば、
これらの事故の多くを防げるのではないか

既存ソリューションとの比較

	ホームドア	スマート白杖	まもりえ
有効性	◎	△	○
コスト	× (3億円/ホーム)	△ (10万円~/台)	◎ (3万円/台)
ユーザビリティ	△	△	◎

コンセプト検証

当事者からの声

- ・ホームから落ちた経験があるので、危険を知らせてくれるのは**助かる**
- ・ぜひ**作ってほしい**
- ・「振動や音」が雑踏の中で気づくよう、**通知は激しめ**がよいかも

実験動画

プロトタイプを用い、音で危険を通知する簡易検証



コンセプト検証

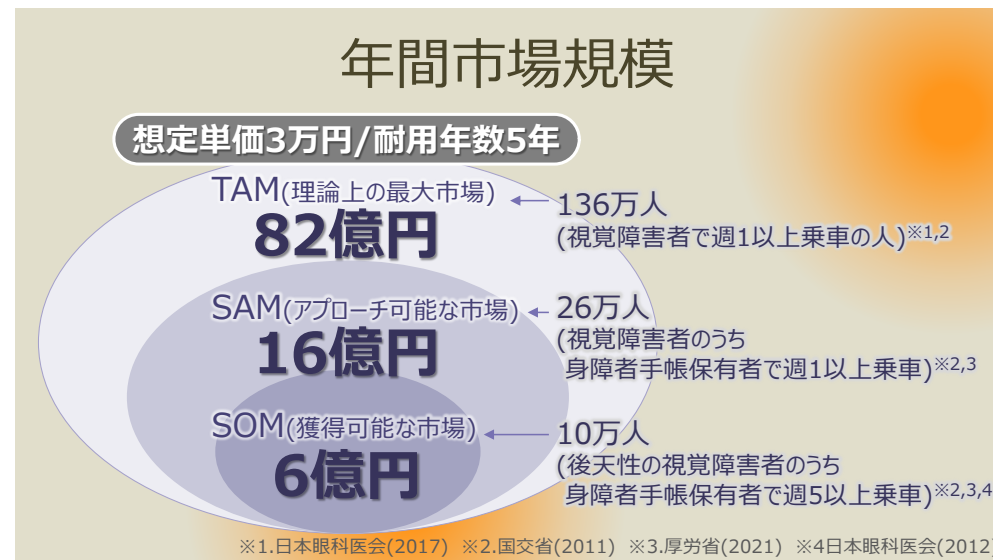
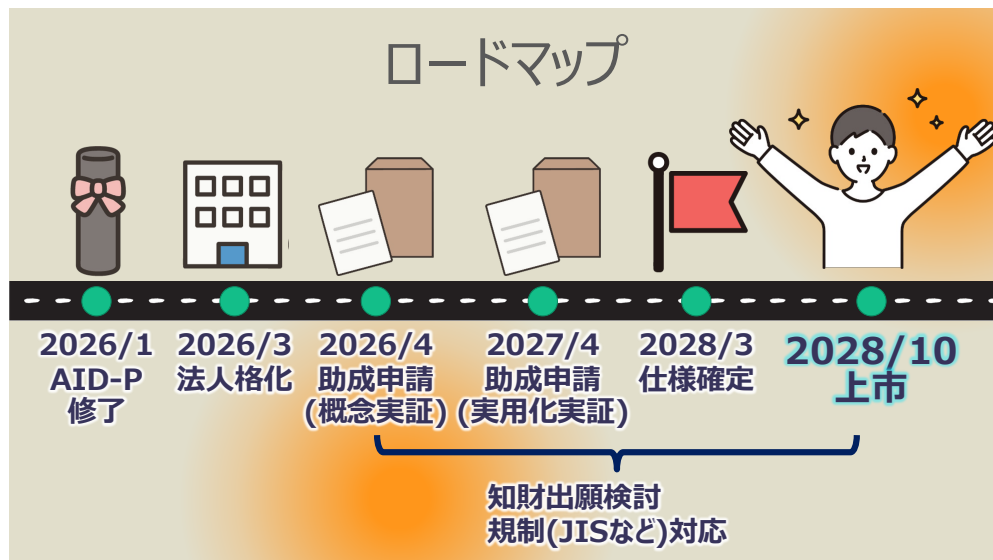
検証（結果）

- ・9人中7人、レーザー光がホーム端のラインから超えたが、音により軌道修正できた
- ・ホーム端に近づいても通知をすれば、進行方向の修正ができて**転落が回避できる可能性あり**

ビジネスモデル

法人格化して助成金で小規模スタート





チームメンバー



大西 香
(眼科医)



太田 英樹
(産学連携URA)



豊山 裕万
(エンジニア)



小山 隆幸
(作業療法士)

多角的な専門性と個性で、挑む

大阪 Aチーム



転落事故の無い世界をつくりたい

共感頂けるエンジニアの方、
ぜひ私たちに力を貸してください